

告 辞

本日ここに保護者のみなさまのご列席の下、沼津工業高等専門学校平成 28 年度入学式を挙行できますことは、本校としてこの上ない喜びとするところであります。本日晴れの入学式を迎えられた新入生、編入学生、専攻科入学生のみなさん、そして保護者の皆さん、本当におめでとうございます。沼津高専はみなさんを心から歓迎いたします。

新入生、編入学生、専攻科入学生のみなさんは、これまで一生懸命勉学に励み、本日、この栄えある日を迎えられました。今日から沼津高専で科学技術の基礎を学び、応用力を身に付け、創造性豊かな実践力を持った技術者として、科学技術の発展や、私達の暮らしを豊かにする「ものづくり」に貢献できる技術者への道に、その第一歩を踏み出されたのです。

皆さんが目指す技術の世界は、日進月歩です。次々と新しい技術や新商品が生み出されています。つい先日発表された新商品が、次の日には別の新商品に取って替わられる、そのような過酷な世界です。スマートフォンに代表されるように、新しく生み出された製品が、私たちの生活様式を一変させる、そんなことも珍しくなくなりました。

高度成長期には、そのような技術の世界の勝者が、日本のものづくり産業だったのです。テレビやオーディオ機器、電子レンジ等の電化製品、カメラや時計等の精密機械製品、自動車や船、発電所の設備といった、ありとあらゆる分野で日本製品が世界を席巻していました。Made in Japan が向かうところに敵なしの状態が長く続きました。

そんな日本の青春時代とも思える高度成長期の「ものづくり」を支えたのは、言うまでもなく技術者なのです。その中でも中心的な役割を果たしてきたのが、皆さんの先輩にあたる高専卒業生です。高専卒業生は、あらゆる産業の技術部門の中心で、主力として活躍してきました。技術畑から企業のトップに上り詰めた人も珍しくありません。

本日入学された皆さんは、明日から資源小国日本のものづくりを支える技術者を目指して勉強に励むこととなります。各学科の専門科目だけではなく、考えを纏める基本となる国語、グローバルコミュニケーションに必須となる英語、そして高い倫理観を養う社会科目や心身を鍛える体育等、技術者に必要となる多くの科目を学んでもらいます。

新一年生となる 210 名の本科入学の皆さんは、これから 5 年間、これらの勉強に励むこととなります。内容は高度な難しい事柄も沢山あります。決して楽ではありません。少しでも手を抜くと、卒業はおろか、次の学年に進級することもおぼつかなくなります。しかし 5 年間頑張った暁には、一人に対して約 20 倍もの求人があり、希望者全員が技術者として就職できるのです。

5 年間本科の勉強を続けた後に、もっと高度な知識を身に付けたいと思えば、本校の専攻科や全国の国公立大学に編入学できます。大学入試センター試験を受験する必要はありません。本校での学習をしっかりとやっていれば特別な受験勉強は必要ありません。これまでも進学希望者は、ほぼ全員が本校の専攻科や希望の大学に現役で進学しています。

編入学された外国人留学生のバトバヤル ウラン ウルジさん、および工業高校から編入学された 5 名のみなさん、編入学おめでとうございます。沼津高専の環境は、これまで皆さんが過ごしてこられた環

境とは異なる部分が多いと思います。最初は勝手に違うことばかりで、戸惑うかもしれません。少しでも早く沼津高専になじんでいただけるようにチューターやクラスメートが皆さんをサポートします。

環境が変わることは、大変だと思いますが、その分沼津高専で過ごしてきた人とは異なる視点で、本校を見ることができます。これはとても大切なことです。感じたことやおかしいと思ったこと等は、臆することなく本校の学生、教職員にぶつけて下さい。議論や反論の無いところには、進歩や発展はありません。よろしくお願いします。

専攻科に入学される皆さん、入学おめでとうございます。本日入学される皆さんは、全員が本校の本科卒業生です。皆さんは沼津高専で最も長期間勉強することになります。皆さんの活躍が沼津高専の学生の評価に直結します。その意味でも皆さんには「私が沼津高専の代表だ」と言う気概を持って、勉学に励んでいただきたいと思います。

専攻科では、本科で学んだことを更に深めると同時に、自らの専門分野だけでなく、他の分野にまたがる広い視野、視点を身に付けて下さい。そして何よりも特別研究を通して、研究とは何か？実験実習とは何が異なるのか？研究にとって大切なものは何か？を学んで欲しいと思います。その上で、研究の成果が社会で役に立つ、価値ある物に繋がることを期待します。

日本の産業界を取り巻く状況は、かつてないほど厳しくなっています。ニュース等でご存じの通り、大手電機メーカーも苦しい経営を強いられています。かつて世界を席卷した日本の鉄鋼や半導体、家電分野でも、成長著しいアジアの国々との厳しい競争の中で、苦戦を強いられています。今や日本のものづくり産業の再建が急務となっています。

技術立国日本の、かつての輝きを取り戻すためには、優秀な技術者の育成が欠かせません。必要なことは、今一度ものづくりの原点に立ち戻って、有為な人材を養成することだと考えています。その状況の中で、高等専門学校の役割は、これまで以上に重要となってきます。今日から沼津高専で学び始める皆さんへの期待は、極めて大きいのです。

安価な製品を大量に作る時代は終わりました。機能や価格だけではなく、使う人の感性に訴えられる、質の高い、多様なものづくりが求められています。自分の専門分野はもとより、文化、芸術、スポーツ等、幅広い分野の素養を併せ持つ、感性豊かな技術者が求められます。そのためにも、好奇心を豊かに、何事にも積極的に取り組んで欲しいと思います。

皆さんは人生の最も輝いている時間の中にいます。私達は、そのような時間を皆さんと共有し、皆さんの成長のお手伝いができることを誇りに思っています。できる限りのサポートをします。是非沼津高専で多くのことを吸収し、有意義な時間を過ごしてほしいと願っています。そして卒業・修了の暁には、社会に約立つ優秀な技術者として巣立たれることを心より期待して、本日の告辞といたします。

平成 28 年 4 月 5 日

独立行政法人国立高等専門学校機構

沼津工業高等専門学校長

藤 本 晶